
目 次

徹底解説 本試験問題シリーズの刊行にあたって

試験制度解説編

1. 情報処理技術者試験と試験制度概要	8
2. 受験ガイド	20
3. システムアーキテクト試験の概要	24
4. 平成 23 年度秋期の試験に向けて	28

アプリケーションエンジニア試験


平成 20 年度秋期試験 問題と解答・解説編

午前問題	H20 - 1
午後 I 問題	H20 - 29
午後 II 問題	H20 - 51
午前問題 解答・解説	H20 - 57
午後 I 問題 解答・解説	H20 - 81
午後 I 問題 試験センター発表の解答例	H20 - 96
午後 II 問題 解答・解説	H20 - 101
午後 II 問題 試験センター発表の出題趣旨	H20 - 116

アプリケーションエンジニア試験

平成 21 年度秋期試験 問題と解答・解説編

午前 I 問題	H21 - 1
午前 II 問題	H21 - 17
午後 I 問題	H21 - 31
午後 II 問題	H21 - 51
午前 I 問題 解答・解説	H21 - 57
午前 II 問題 解答・解説	H21 - 72
午後 I 問題 解答・解説	H21 - 85
午後 I 問題 試験センター発表の解答例	H21 - 99
午後 II 問題 解答・解説	H21 - 104
午後 II 問題 試験センター発表の出題趣旨	H21 - 119



システムアーキテクト試験

平成 22 年度秋期試験 問題と解答・解説編

午前Ⅰ問題	H22 - 1
午前Ⅱ問題	H22 - 17
午後Ⅰ問題	H22 - 31
午後Ⅱ問題	H22 - 53
午前Ⅰ問題 解答・解説	H22 - 59
午前Ⅱ問題 解答・解説	H22 - 74
午後Ⅰ問題 解答・解説	H22 - 87
午後Ⅰ問題 試験センター発表の解答例	H22 - 102
午後Ⅱ問題 解答・解説	H22 - 107
午後Ⅱ問題 試験センター発表の出題趣旨	H22 - 122

<付録>

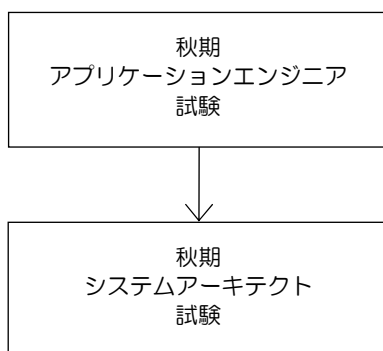
システムアーキテクト試験	付 - 1
(1) 午前問題出題分析	付 - 2
(2) 午前の出題範囲	付 -14
(3) 午後Ⅰ問題 予想配点表	付 -22
(4) 午前解答マークシート	付 -25

商標表示

各社の登録商標及び商標，製品名に対しては，特に注記のない場合でも，これを十分に尊重いたします。

2011 徹底解説 システムアーキテクト 本試験問題 について

平成 21 年度秋期から実施されるシステムアーキテクト試験は、平成 20 年度まで行われていたアプリケーションエンジニア試験の出題範囲と試験問題レベルがほぼ同じであることが、「独立行政法人 情報処理推進機構 IT 人材育成本部 情報処理技術者試験センター」から発表されています。



このため、「2011 徹底解説 システムアーキテクト 本試験問題」には、次の 3 期分の試験が収録されています。

- 平成 20 年度秋期 アプリケーションエンジニア試験
- 平成 21 年度秋期 システムアーキテクト試験
- 平成 22 年度秋期 システムアーキテクト試験

午前 I 試験の出題比数は次のような結果でした。春期試験と秋期試験ではほとんど同じ出題比数です。

分野	大分類	22年春 出題数	22年秋 出題数	22年秋 分野別問題数
テクノロジー系	基礎理論	3	3	17
	コンピュータシステム	5	5	
	技術要素	7	6	
	開発技術	2	3	
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	2	2	5
	サービスマネジメント	3	3	
ストラテジ系	システム戦略	3	3	8
	経営戦略	3	3	
	企業と法務	2	2	
合計		30	30	30

図表 14 午前 I 試験 分野別出題数

新傾向問題としては次が挙げられます。

- 問 7 デュアルライセンスのソフトウェア利用条件
- 問 9 システム状態の視認性
- 問 13 データやサービスを呼び出すためのプロトコル
- 問 16 マッシュアップ
- 問 18 WBS の構成要素であるワークパッケージ
- 問 27 フラッシュメモリを採用する理由

高度系の試験で午前 I 試験の免除対象になっていない方は、非常に出題範囲が広いので、何を学習したらよいか分からないかもしれません。短時間で出題ポイントを理解するには、弊社刊行の「合格への総まとめ 2011 応用情報・高度 午前共通知識対策」をお勧めします。ポイント解説に続き、必須問題の解答解説で効率よく学習できます。さらに多くの演習問題を解きたい方は、問題集の「2011 応用情報・高度に出る 午前共通知識問題」をお勧めします。分野別に出題必須問題を学習できるので、学習後の理解後確認が可能です。

なお、苦手な内容や受験する試験の専門知識に相当する内容を学習するには、